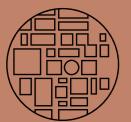


21

MUSEUM
CRUISE
DOCUMENT
2022

MUSEUM CRUISE DOCUMENT 2022

ミュージアム・クルーズ
記録集



金沢21世紀美術館
21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

もくじ

- p.01 はじめに
- p.02 「ミュージアム・クルーズ」とは？
- p.04 1日の流れ
- p.06 「ミュージアム・クルーズ」のツール
- p.08 作品鑑賞プログラム・メンバー「クルーズ・クルー」について
- p.10 参加児童アンケート「まるびいへお手紙を書こう！」より
- p.12 学校関係者との取り組み
- p.13 検討委員より
- p.14 学校関係者アンケート
- p.16 コレクション展

付録：2022年度「ミュージアム・クルーズ」ポスター



はじめに

出会いの旅

「ミュージアム・クルーズ」へようこそ！

「ミュージアム・クルーズ」は金沢市内で学ぶ小学4年生を美術館へ招待するプログラムです。学年単位で来館した子どもたちが作品を見て、感じて、考えるこのプログラムは、学校関係者、作品鑑賞プログラム・メンバー「クルーズ・クルー」、そして美術館のスタッフらが協働して行っています。

金沢21世紀美術館はミッションの1つに「子どもたちとともに、成長する美術館」を掲げています。このプログラムが継続することで、子どもたちに限らず、多世代・多様な大人も「3つの出会い」を体験できる場となっています。

今年度は2020年度から取り組んできた新型コロナウイルス感染拡大防止策を取りながら、参加を希望する60校を無事全て受け入れることができました。校外学習の機会が減少した時期だからこそ、9歳から10歳の子どもたちが美術館で主体的に過ごす環境づくりの大切さを、改めて実感しました。参加後のアンケートによれば、38%の子どもたちが初来館、96%が再訪を希望しています。この体験が一人ひとりの未来への種まきとなることが、このプログラムを続けていく意義の一つです。

この記録集と付録のポスターには、2022年度の「ミュージアム・クルーズ」の様子をまとめました。美術館で過ごすひとりのための取り組み、そして「今・ここで」体験したことへのリアルな反応などをお楽しみください。

「3つの出会い」が子どもたちを待っています

まるびい

「まるびい」とは「まるいびじゅつかん」である金沢21世紀美術館の愛称です。来館中、子どもたちはユニークな建築空間を体験します。

現代アート

「コレクション展」や美術館に合わせて作られた「コミッションワーク」など同時代の様々な作品に触れます。

クルーズ・クルー

「旅の仲間」の意味を持つ多世代の作品鑑賞プログラム・メンバーは子どもたちが安全に活動し、気づきあえるように一緒に過ごします。

「ミュージアム・クルーズ」とは？



概要

金沢21世紀美術館は、活動の指針のひとつに「子どもたちとともに成長する美術館」を掲げています。その一環として2004年の開館時に「ミュージアム・クルーズ・プロジェクト」を実施し、金沢市内の小中学生約4万人が美術館を訪れました。この経験を活かし、2006年より金沢市内の小学4年生を学校ごとに美術館へ招待するプログラム「ミュージアム・クルーズ」を継続して行っています。「ミュージアム・クルーズ」は、子どもたちが少人数のグループでコレクション展を鑑賞し、美術館を散策することで、感じる心を養い、地元の美術館に慣れ親しむ機会を形成します。金沢市教育委員会や作品鑑賞プログラム・メンバー「クルーズ・クルー」などの協力のもと、「金沢で生まれ育った子どもはみな、大人になる前に美術館に行ったことがある」という社会環境をつくります。



目的

美術館における作品鑑賞を通じて“感じる心”を養う

- ・ 金沢21世紀美術館とコレクションを身近に感じ、大切に思う心を育てる
- ・ 世界のアーティストの様々な発想と表現に五感と身体全体で出会い、触れ合うことによって感受性、創造性、自主性、思考力、表現力を育てる
- ・ 色々な感じ方、見方、考え方、表現の仕方があることを知り、他の人の気持ちや考えを思いやる想像力とコミュニケーション力を育てる
- ・ アート(美術)が、世界の状況、社会の動き、情報、科学、文学、音楽、ダンス、演劇、人と人との関係や毎日の暮らしに深い関係をもっていることを知り、幅広い視野で学ぼうとする意欲や態度を育てる
- ・ 公共の空間でマナーを守りながら自由に楽しむ力を育てる

美術館における“子どもの鑑賞活動”を継続的に実施する

- ・ 美術館と学校による協力関係の継続・強化
- ・ 美術館における体験と、学校における授業との有機的な連携の推進

2022年度 年間スケジュール

2022年							2023年				
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校の動き	第1回検討会	会場事前視察 前期 学校来館 6月2日・9月9日				第2回検討会	会場事前視察 後期 学校来館 11月15日・12月16日	第3回検討会	来年度の参加打診	来年度の日程通知	
クルーズ・クルーの活動	クルーズ・クルー説明会・研修	クルーズ・クルー研修				クルーズ・クルー追加募集・研修	クルーズ・クルー研修 解散式				
美術館の動き		5月21日 - 10月16日 「コレクション展1 うつわ」			5月21日 - 9月11日 「特別展示：マッシュ・バーニー」		11月3日 - 2023年3月19日 「コレクション展2 Sea Lane: 島々への接続」				
		5月21日・5月29日 教職員対象 展覧会無料招待ウィーク①				11月5日・11月13日 教職員対象 展覧会無料招待ウィーク②			1月4日・1月15日 金沢市小中学校合同展		

2022年度データ

期間：2022年6月2日(木) - 9月9日(金)
2022年11月15日(火) - 12月16日(金) のべ48日間実施
参加：金沢市内の小学校と特別支援学校60校
内訳) 前期「コレクション展1 うつわ」鑑賞…6月2日(木) -、30日間・37校
後期「コレクション展2 Sea Lane: 島々への接続」鑑賞…18日間・23校
参加：4,120名(児童3,893名+引率227名)
クルーズ・クルー：80名

主催：金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]
共催：金沢市教育委員会
助成：金沢ライオンズクラブ



1日の流れ

午前	午後
9:15	12:45
↓	↓
9:40	13:10
↓	↓
10:00	13:30
↓	↓

クルーズ・クルー集合、打ち合わせ

来館する学校の情報や当日の館内の状況を共有
 役割分担や自分が担う場所の確認
 作品を子どもと楽しく見るには？といった鑑賞のポイントの相談



子どもたち到着・挨拶

広場にてスタッフと合流
 入館後は荷物を預けクラスごとにクルーと移動
 各クラスではじめの挨拶、館内の約束や集合時間などの確認
 手指消毒とチケット配布



鑑賞の時間

子どもたちは3-4人のグループでコレクション展を鑑賞
 クルーズ・クルーは各展示室で子どもたちを見守る
 子どもたちはガイドマップやクルーの問いかけで考えを深める



10:45

↓

11:15

↓

11:25

↓

11:30

↓

12:00

探検の時間

子どもたちはグループで交流ゾーンや広場を探検する
 クルーズ・クルーも館内各所で子どもたちを見守る



再集合、挨拶

クラスごとに再集合
 子どもたちの感想発表、「もう1回券」の紹介、手指消毒



子どもたち出発

荷物を取って出発



クルーズ・クルー振り返り

その日の活動を振り返り、気がついたことを共有



クルーズ・クルー解散

「ミュージアム・クルーズ」のツール

学校や美術館、家庭でも活動についての理解を深められるようにツールを制作しています。

ガイドマップ

活動範囲やマナーの確認ができるほか、作品を鑑賞するヒントとして利用できます。

折りたたんで小学4年生の手やポケットにも収まりやすいサイズ(9.1cm×12.8cm)で制作されています。



「コレクション展1 うつわ」 デザイン:HAYASHI TAKUMA DESIGN OFFICE.



「コレクション展2 Sea Lane:島々への接続」 デザイン:尾中俊介(カラマリ・インク)

活用例

- 学 校で 事前指導や来館後の振り返り
- 美術館で ミュージアム・クルーズ活動中の所在地の確認や意見交換
- 家 庭で ミュージアム・クルーズの紹介や振り返り

掲載内容: プログラム紹介、館内での約束、館内地図、作品写真やデータ、鑑賞を促す一言、探検の時間のオススメ、

もう1回券、もう1回券で見られる展覧会紹介

DVD

子どもたちに美術館での活動内容や魅力を伝え、引率者が事前指導に役立てられるよう映像を制作しています。今年度は①ミュージアム・クルーズ紹介 ②コレクション展紹介の2種を制作配布しました。どちらも3分程度で、②は「ミュージアム・クルーズでよく見て、感じて考えよう!」と題し、コレクション展で出品される写真を用いて見方の提示をし、「色」「形」「素材」に着目する例として恒久展示作品の動画を盛り込みました。

CHAPTER1 「ミュージアム・クルーズ」紹介



CHAPTER2 「ミュージアム・クルーズでよく見て、感じて、考えよう!」



「クルーズ・クルー」について

概要

「ミュージアム・クルーズ」では美術館を訪れる子どもたちと作品を鑑賞し、美術館体験をサポートします。解説のためのボランティアではなく、旅の仲間として子どもたち同士の対話を促し、安全を見守ります。

応募条件：

20歳以上の方

説明会と事前研修A・B・Cに全て参加できる方

月2回程度、子どもたちとの活動に参加できる方

※無償での活動です。

今年度のクルーズ・クルー：

参加人数は80名でした。

男女比は1:9、初参加者と経験者の比はおおよそ1:1でした。



説明会



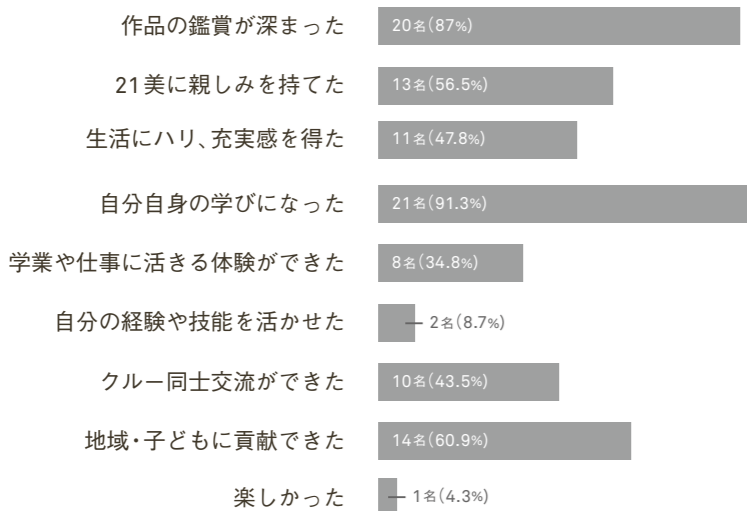
事前研修



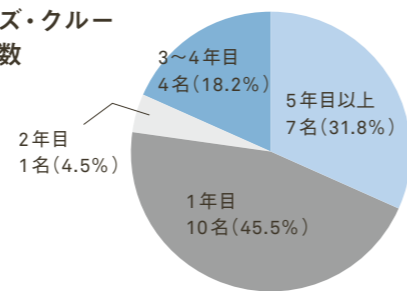
解散式にて

クルーズ・クルーアンケートより (80名中23名回答、原文一部掲載)

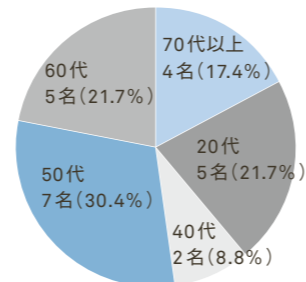
Q.1 クルーズ・クルーとして活動に参加して感じたことがあれば教えてください(複数回答可)



クルーズ・クルー参加年数



クルーズ・クルー年代



Q.2 今年度のクルーズに参加して、よかったことやあなた自身の変化はありますか？

- ・子どもへの苦手意識があったが、回を重ねるごとに子どもの感想を聞きたい！という積極的な気持ちが強まり、苦手意識が少し薄れた。(20代女性・大学生・初参加)
- ・自身に自信が持てなかったが、それが少し改善された。また大学生生活だけでは絶対に関わり合うことのない層の人々との交流ができ、社会勉強になった。(20代男性・大学生・初参加)
- ・子供たちがアートから個性ゆたかな様々な感想を持つように、私たちおともも同じでなくていいことを改めて感じました。鑑賞で子どもたちに尋ねたように、「自分は今どんなきもちか？」というのを確認するのも大切だと気づきました。(40代女性・初参加)
- ・美術館に行く立場からお迎えするクルーという立場になった事で作品を深く味わう事は、もちろん、美術館という空間をまた違った角度から見る事が出来て楽しかった。まるびいにとても親近感を持てる様になったと思う。(50代女性・初参加)
- ・21美に向かうことがとても楽しく、日々の生活にハリが生まれました。子ども達やクルーズクルーの皆さんとの関わりを

- 通して、あらためて笑顔の大切さを実感しました。(60代女性・3-4年目)
- ・今年も続けて参加できたことが、まずはよかったと思いました。クルーズでおしゃべりしながら見るのが楽しくて、個人的に美術館に行っても、気づいたことを話し合いながら、あちこちを行ったり来たりしながら見ている事が増えたような気がします。気になった作品をもう一度後で見たりするのも、クルーズで教えてもらった作品の楽しみ方です。(50代女性・5年目以上)
- ・盲学校を体験出来た事。福祉とアートの勉強をしたばかりで、何時も避けていたけどやってみて良かったと思いました。いつも見ることに力を入れていましたが、一緒に耳をすませて、展示室の大きさを感じる事ができました。作品を見るだけでなく、美術館を体験するのも有りかなと思いました。廊下に盲人用のブロックがあるのに、誰も利用している姿を見たことがない。目の見えない方達にも来てもらいたい。(70代以上女性・5年目以上)

Q.3 子どもたちとの活動の中で行った工夫や印象に残ったこと、今後への提案があれば教えてください。

- ・活発に発言しあっているグループに「別のグループではこんな意見もあったよ」と伝えると「あ、ホントだ！たしかにそうだね。そうしたら、これはこういう意味にも取れるんじゃない？」と、他の意見を尊重しつつ、そこからまた新しい発見をしていたことが印象的だった。「よくわからない」と素通りする子もいたけれど、多くの子供たちはじっくりとよく作品を観察？していたように思う。子供たちの観察力をいかに最大限に引き出せるか、子供たちの会話をよく聞きながら会話に混ぜてもらえるよう努力してみたが、まだまだ力不足だった。(20代女性・初参加)
- ・クルーはお母さん、おばあさん世代が多いので、お兄さんお姉さんお父さんおじいさん世代のクルーも増えるとバランス良く関わることができると思う(60代女性・初参加)
- ・来館する子ども達は同じ4年生でも、雰囲気はずいぶんと違いました。でもどの学校の子もとても素直に私たちを受け入れて自分の思いを伝えてくれる様子には、こちらの心もあたたかくなりました。日々の学習の中で、クラスの友達を大切に

- し、周囲の人に敬意を払うことをしっかり学んでいることを実感し、学校の先生方へ敬意が深くなりました。(60代女性・3-4年目)
- ・子供たちとの感想を引き出すために先に自分の解釈を言わないようにする。「どうだった？」では答えづらいので「なんの形？どんな色？どこがおもしろい？」など具体的に質問する。(60代女性・3-4年目)
- ・子どもたちとなるべく視線を合わせて、笑顔でいることを心がけました。作品についてお話をする時も、最初からたくさん話をしようと思わず、子どもたちの様子を見ながら声をかけ、少しずつ距離を縮めて、「よかったら、また他の作品を見た後に、もう一度見に来てね。その時、またこの作品について話をしよう。どんな作品が他にあったか、どれが気に入ったか、その時に教えて。」と言うことをしてみました。そうすると、一度目より二度目の方が話が弾んだりしました。お互い少し慣れた感じがするからかな。(50代女性・5年目以上)

参加児童アンケート 「まるびいへお手紙を書こう！」より

58校3,585名回答

Q.1 「ミュージアム・クルーズ」の中で、心に残ったものは何ですか？それはなぜですか？

多くの子どもたちの心に残った作品の感想を一部紹介します。

久野彩子 《うつろう世界》

- ・いろいろなそうぞうができそうで、おもしろかったです。ぼくは、いんせきがしょうとつではめつしたきゅうとそうぞうしました。
- ・一番心にのこったのは、展示室1の「うつろう世界」です。なぜかという、私は、機械の世界だと思って話したけど、他の人は人がいない世界や世界の終わりなど、色々な予想ができて、おもしろかったからです。



イザベル&アルフレド・アキリザン 《移動：もうひとつの国》

- ・上の部分の方が大きいのにたおれなかったりボートはさかさだけど家はさかさではないのがふしぎでふしぎがいっぱいあったからです。
- ・さかさまから見ると、下にしいてある白いラグが雲に見えるのに気がついて、また、さかさになっていないものもあったからです。



アニッシュ・カプーア 《L'Origine du monde》

- ・立体的であの黒い鏡のようなどころから、何かが飛び出てきそうなふんいきだったから、すごく不思議で、下からしゃがんで見ると、日本の国旗にも見えてくるので、「すごい作品だな」と思ったから、心に残った。
- ・理由は角度を変えてみると細長く見えたり、丸く見えたりしたし、しゃがんで見たら穴の中に入れてそうだったからです。そして、じっくり見たら穴の周りに白い光が見えたのもおもしろかったです。そして心がしずかになるかんじがしました。



ジェームズ・タレル《ブルー・プラネット・スカイ》

- ・全体が作品で、すわったりできてちよくせつ作品を感じられるからです。あと、1日1日が全部ちがうけしきで一度しかみられないのがすごいと思ったからです。
- ・一番すごいと思ったのは、タレルのへやです。まさか天井があいてたなんてびっくりしました。すごいと思ったわけは、しぜんをかんじられるからです。雨の日にいったら天井から雨水が降ってくるのがすごいと思いました。



Q.2 “まるびい”へ来たのは何回目ですか？



Q.3 また“まるびい”へ来たいと思いましたか？



思った

- ・わけは、はじめて来たし、いけなかったところもあったから全部回りたいからです。
- ・何回も見るごとに(いろんな方向からも)新しい発見が次々生まれてきて、楽しいし、おもしろいし、不思議だと思ったからです。ずっと見てみたいです。
- ・ぼくは今まで絵や作品は相手が分かるように作るのがふつうだと思っていました。でもまるびいの絵や作品は相手が分かるものよりも相手がこれなんだろう?と思わせるようなふしぎな物を作った方がいいということがまるびいの作品などを見てしれたからです。
- ・作品が見る位置によって色が変わったりしておもしろかったのと、ミュージアム・クルーズで作品を見て、きょうみをもったからです。
- ・いろいろな作品があって、心の中の気もちがはっきり分かるようになったから。

思わなかった

- ・前にも1回行ったことはあるけどわすれていたし楽しい所とは思わなかったから。
- ・よく分からない作品だがたくさんあったからです。
- ・あんまりきょうみがなかった。

わからない

- ・美じゅつ館っていうのは、すばらしい物がいっぱいあるけど、自分は「見る」っていうのも好きだけど、「やる」っていうのも好きだから、「C. わからない」にしました。
- ・みんなとくからこれはこれやあれはあれなどはっけんがあるけど、一人でいくのは・・・。
- ・ゲームもしたいまるびいにも行きたいからです。
- ・もうぜんぶわかったから。

お手紙に描かれたイラストを一部紹介します。



学校関係者との取り組み

子どもたちの安全かつ有意義な美術館活動を実現するため、ふたつの取り組みを行っている。



検討会

金沢市教育委員会推薦の教諭3名と美術館の担当スタッフが、プログラムの内容を検討・監修を年3回行っている。

主な検討内容

- ・ガイドマップ
- ・会場事前視察
- ・学校での事前、当日、事後の取り組み
- ・来館中の対応
- など



会場事前視察

引率予定の教職員と担当スタッフが活動の流れに沿って会場を下見する(約55分)。

主な内容

- ・学校での事前準備について (DVDの貸し出しとガイドマップの配布)
- ・当日の流れの確認
- ・集合場所や活動場所の確認
- ・コレクション展の鑑賞と感想交換体験
- ・学校別の打合せ (希望校のみ)
- など

検討委員より

「まるびい」だからこそできる学び
金沢市立犀桜小学校 教諭 杉本 梢



子どもたちにとって、心ときめく場所である「まるびい」に行くという期待感是最初から大きいものだった。事前指導の際に心がけたのは、ワクワク感をさらに高めることだ。まず、紹介DVDを見る前に名前だけを伝えた。「クルーズ!?クルーズって何!?」「なん

成長する子どもたち

金沢市立小坂小学校 教諭 笠原奈保実



「ミュージアム・クルーズ」は、クルーズの名の通り子どもたちが旅をする。美術館の中をグループで、次はこれ、次はあれと作品を求めて旅をする。学校の外を出て子どもたちだけでという機会はあまりないので、初めは不安げな子や、どういう風に作品をみてまわれればよいのだろうか、とまどう子もいる。しかし「クルーさん」

心待ちにしていた「ミュージアム・クルーズ」

金沢市立鞍月小学校 大瀨 紀子



金沢市の全ての4年生が招待される「ミュージアム・クルーズ」のことを子どもたちに告げた時、「やった〜!」という喜びの声がふれた。コロナ禍のため、これまで様々な行事や取り組みに制限

かおもしろそう!」と、大盛り上がりだった。次に心がけたのは、美術作品に目を向けさせることである。ガイドマップをグループそれぞれで広げさせた。するとすぐに、作品の写真や問いかけを見ながら、話し始めていた。子どもたちの中では、すでに「ミュージアム・クルーズ」が始まっていたかのようだった。ミュージアム・クルーズ当日、子どもたちの目は一点に作品を見つめていた。作品を見ながら、グループの友だちと話しているのである。クルーさんの優しい問いかけのおかげで、作品を見て感じたことを自分なりの言葉で紡いでいた。友だちの感じたことにも「ああ、なるほど!」「わたしはこっちの方が好きかな。」と自由に伝え合っていた。学校では実現できない、じっくりと芸術作品に浸ることができる75分だったように思う。検討会で期待した子どもたちの姿が見られ、とても素敵な時間であった。

との出会いが子どもたちを変えていく。クルーさんは作品を解説しない。「何をしている場面だと思う?」「作品をみて気づいたことを教えて?」と対話の中から子どもたちの考えや思いを引き出してくれる。自分だけの視点で作品をみて、自分なりの答えをつくりだすことができる。友だちの意見を聞き、自分とは違う見方や考え方があるのだと知る。足どりはだんだん軽くなり、「探検の時間」のころには子どもたちの思いや感情は爆発する。「楽しかったー」「また来たい」と子どもたちの笑顔でいっぱいになる。たくさんのアートにふれ、想像し、自分の考えを持つ力、相手に思いを伝える力、人と自分の意見が違うことに気づき認め合う力、親でもない先生でもない大人とのコミュニケーションをとる力、このクルーズでたくさんの力を子どもたちは成長させることができた。

がかかり、我慢してきた子どもたち。美術館に行ったことがある子も、ない子もミュージアム・クルーズをとっても心待ちにしていた。事前に、DVDやガイドマップを見ながら班で計画を立て、その気持ちはさらに高まっていった。初めての子もたちだけの班行動に心配もあったが、ガイドマップをもとにいきいきと作品をあげ、クルーさんとの会話を楽しむ子どもたちの様子が見られた。クルーさんや班の子と、作品について様々な視点で語り合うことで、お家の人と来る時とは、また違った楽しさを感じた子もいたようだ。検討委員としてこのプログラムに関わらせて頂いたことで、美術館のスタッフさんやクルーさんの熱い想いに触れることができた。子どもたちが安全で有意義な活動ができるように力を注いで下さっていることに感謝の気持ちでいっぱいである。

学校関係者アンケートより

59校のアンケート集計結果の一部を紹介します。

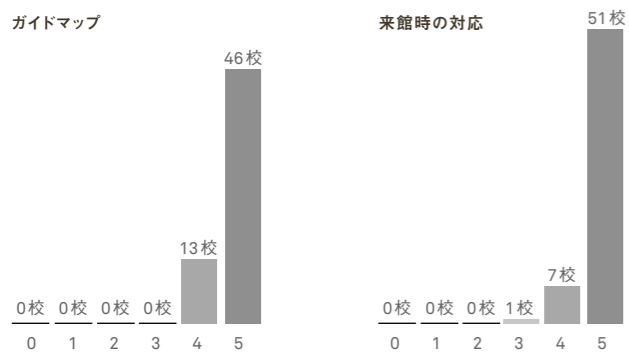
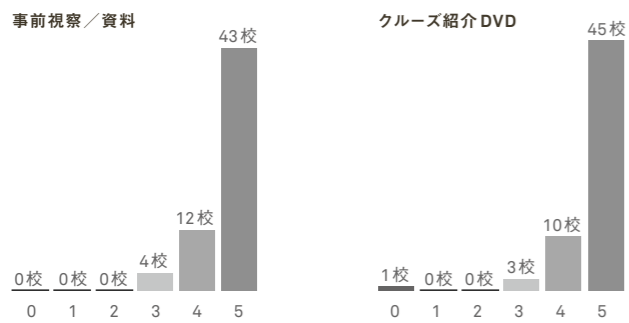
Q1 今年度の「ミュージアム・クルーズ」に参加して、いかがでしたか？

理由(抜粋)

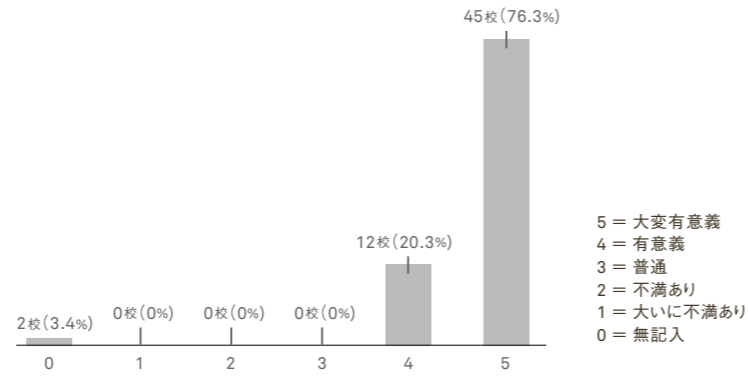
[大変有意義]

- はじめて行く児童が自分が思っていたよりも多く、こんなに近くにありながら、なかなか子どもは行く経験がないのだなと思った時、この事業はなくてはならないものだと感じました。
- なかなか見ることのできない作品にふれて、いろいろな感想を持つことができたから(考えたり、予想したり、疑問を持ったり)。
- 子どもの素直な発言に驚きました。学校ではでてこない言葉でした。子ども達の感情的を上手に引き出して言葉になるまで待ってくれてありがとうございます。あらためて子どもってすごい！！って思いました。

Q2 事前視察・DVD・ガイドマップ・来館時の対応について



5 = とても良い
4 = 良い
3 = 普通
2 = 悪い
1 = とても悪い
0 = 視聴せず/無記入



- (特別支援学校より) アートバスの来校時、子供達がバスをじっと見たり、今回参加しなかった別の学年の子も近くまで見に来たりしていました。最初は緊張気味だった子も次第にクルーズに慣れ、自分からタッチを求める姿が見られました。普段あまり人や物を注視しない子も、部屋が変わったり作品の近くに来ると注視する姿が見られました。

[有意義]

- 学校では見られない子ども達の作品への関わりが見られてよかったです。同じグループの中でも心に残った作品が違っていてもよかったです。
- 笑顔を見せながら、楽しそうな様子が見られた。キッズスタジオが楽しかったようです。

理由(抜粋)

[事前視察]

- 事前視察のおかげで引率のイメージを持つことができ、助かりました。
- 視察でもう少し作品がみれたらうれしいです(ほんの少しの希望です)。
- (特別支援学校より) 視察時に個別で吸引場所等対応していただき助かりました。

[DVD]

- 子どもたちの興味がぐんと上がった気がしました。わかりやすくてよかったです。

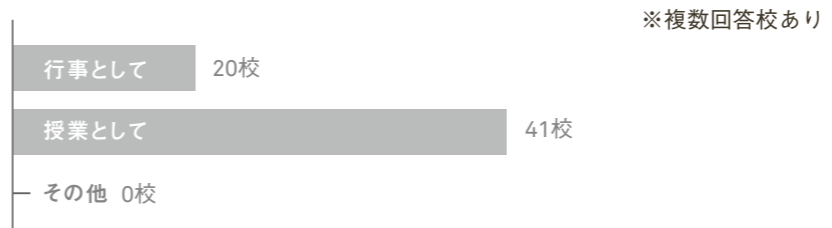
[ガイドマップ]

- 鑑賞のポイントや「どこにあるか探してみよう」と書かれていて、意欲的に活動できるしかけがしてあり、とてもよかった。
- 事前に学校でも説明でき、とても役立ちました。どこを見学できるのか色分けしており、子どもたちが自分たちだけでどこへ行くか考えることができました。

[来館時の対応]

- 入口からクルーの方が笑顔で迎えてくださってうれしかったです。
- クルーさんの優しい話し方や子ども達の話にいいに耳を傾けて聞ってくれる姿に、私も心があたたかくなりました。

Q3-1 来館時の時間の取り扱いについて教えてください



具体例(抜粋)

<行事として>

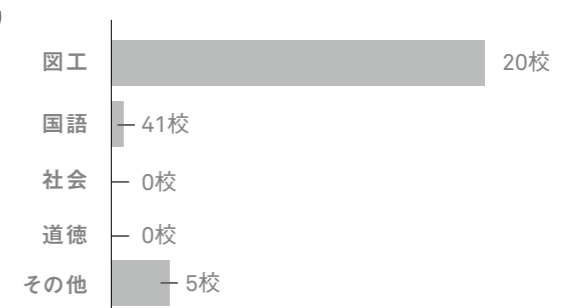
- 見て、感じて、楽しく仲良く学んでよう！(子どもらで考えました。)
- 見学時の社会性(マナー)を身につける。その上で、地元の美術館と作品にふれ合う。

- (特別支援学校より)「美術館を楽しもう」

<授業:図工として>

- 実行委員が目あてを考えて4年生に伝えました。見学方法や諸注意も実行委員が伝えました。「美術館の作品を鑑賞してミュージアム・クルーズを楽しもう」が目あてです。

→授業の詳細(複数回答可)



- 美術作品に触れる、友だちと交流しながら作品のよさや美しさ、面白さ、場所の雰囲気を感じ取る。

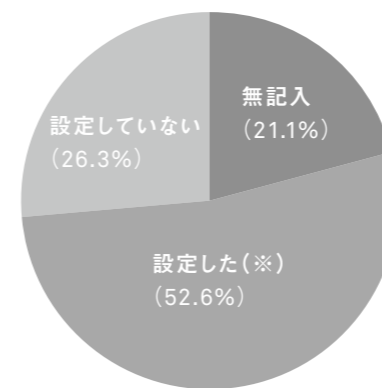
- 国語の「新聞を作ろう」の記事として取り上げる。まだ記事を書いていませんが、達成できると思います。

<授業:その他として>

- (特別支援学校より) スケジュールに見通しを持ち「クルーズ・クルー」や作品との出会いを楽しんでお気に入りの見つける。約束を知り、守ろうとする。

Q3-2 来館時の時間の設け方

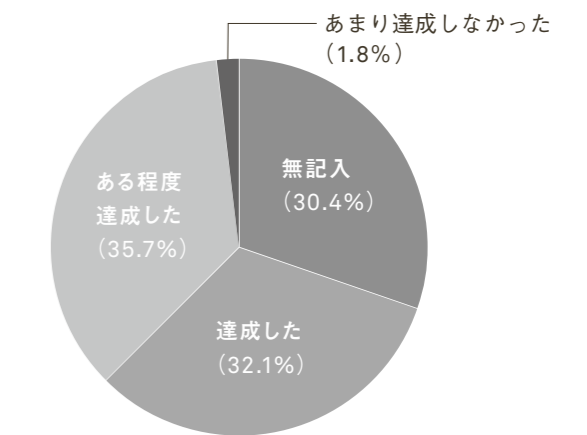
(期待すること、目標やねらい、めあてなど)



Q4 プログラムへの提案や要望など [提案や要望など自由記述から]

- 子どもたちにとって、貴重な機会となっていますので、ぜひ続けてください。
- はじめは広場の探検は予定していませんでしたが、提案して下さり、見ることにになりました。子ども達がとても喜んでいたので良かったです。アートバスに乗りたい児童が多くいたので、みんなが乗れるといいと思いました。コロナの対策上、仕方がないと思うのですが、プールの下のところも見れるようになるといいと思いました。ありがとうございました。

Q3-3 来館時の時間の設け方(達成度合い)



- (特別支援学校より) 恒久展示作品(館内案内のパンフレットの内容)がガイドブックにあるとより使いやすいと思いました。

- (特別支援学校より) 本校ではその年の対象学年の人数や実態に応じて参加できたり、難しいこともあるかもしれませんが、今回のように視察時に細かく打ち合わせができればありがたいと思います。

コレクション1 うつわ

会期：2022年5月21日(土)-10月6日(日)

会場：金沢21世紀美術館 展示室1、3、4、5、13、カプーアの部屋

出品リスト

「ミュージアム・クルーズ」開催期間中の作品に限り記載する。

展示室1	展示室4	展示室5
—	—	—
久野彩子 うつろう世界 2016 真鍮 H52×W65×D69cm 金沢21世紀美術館	田嶋悦子 Cornucopia 00-I 2000 陶、ガラス H37×W60×D55cm 金沢21世紀美術館	奈良祐希 凍れる花々 インスタレーション構成要素《Bone Flower_Jōmon》《Bone Flower_Yayoi》 2021年 金沢21世紀美術館蔵、《Bone Flower》13点 作家蔵 2022 半磁器(磁土・大樋土) 4×3.4×6m(サイズ可変) 金沢21世紀美術館/作家蔵
展示室3	田嶋悦子 Cornucopia 02-XII 2002 陶、ガラス H70×W85×D58cm 金沢21世紀美術館	展示室13
—	—	—
イ・ブル モンスター・ドローイング No.5-No.6 1998 インク／紙 ドローイング3点で(会期途中で展示替え) 各H109×W79cm(6点) 金沢21世紀美術館	ピナリー・サンビタク プリリアント・ブルー 2008 アクリル／カンヴァス H198×D250cm 金沢21世紀美術館	中村卓夫 C-unit 佐藤卓 茶箱プロジェクト：素材による形状と比率に於ける選択と用途の検証 2010 錫、竹、陶、漆、木、ガラス 酒井忍 XL:H19.5×W20.5×D29.5cm L:H16×W6.5×D23.5cm M:H13×W13×D18.5cm S:H10.5×W10×D14.5cm XS:H8×W8×D11cm、本江和美 XL:H18×W20×D28cm L:H14×W15×D22cm M:H11×W12×D17cm S:H9×W10×D13cm XS:H7.5×W8×D10.5cm、大村修一 XL:H15×φ17cm L:H12×φ13.5cm M:H9.5×φ10cm S:H7.5×φ8cm XS:H5.5×φ6cm、吉田安喜 XL:H12.5×φ12.5cm L:H11×φ10cm M:H8.5×φ7.5cm S:H7.5×φ6.5cm XS:H6×φ5cm、中村卓夫 XL:H13×W17×D14cm L:H10×W13×D11cm M:H9×W12×D11cm S:H8×W8×D7cm XS:H7×W7×D5cm、竹村友里 XL:H9×φ11cm L:H7×φ9cm M:H6.5×φ8.5cm S:H4×φ6cm XS:H3×φ4cm、青木有理子 XL:H0.3×φ18cm L:H0.3×φ16cm M:H0.3×φ12cm S:H0.3×φ10cm XS:H0.3×φ8cm 金沢21世紀美術館
イ・ブル モンスター・ドローイング No.3-No.4 1998 インク／紙 ドローイング3点で(会期途中で展示替え) 各H109×W79cm(6点) 金沢21世紀美術館	モニック・フリードマン 金色1、「輝き」シリーズより 2004 顔料、パステル、結合剤／リネン H250×W250cm 金沢21世紀美術館	見附正康 無題 2012 磁器 H10.8×φ47.7cm 金沢21世紀美術館
塩田千春 セルI 2018 水彩、クレヨン／紙 H56×W42cm 金沢21世紀美術館	中田真裕 mirage 2021 漆、麻布、顔料 H31×φ60cm 金沢21世紀美術館	見附正康 無題 2012 磁器 H10.8×φ47.7cm 金沢21世紀美術館
塩田千春 セルII 2018 水彩、クレヨン／紙 H56×W42cm 金沢21世紀美術館	—	見附正康 無題 2012 磁器 H10.8×φ47.7cm 金沢21世紀美術館
青木千絵 BODY 21-2 2021 漆、麻布、スタイロフォーム H35×W99×D70cm 金沢21世紀美術館	—	葉山有樹 龍孫黄帝図鉢 2006-2007 磁器 H17.5×φ56.9cm 金沢21世紀美術館
—	—	ベンアンドセバスチャン 金沢21世紀美術館：空虚部門(構成要素の一部) 2017 ガラス、皮、木、紙、布 サイズ可変 金沢21世紀美術館

特別展示：マシュー・バーニー

会期：2022年5月21日(土)-9月11日(日)

会場：金沢21世紀美術館 展示室2

出品リスト

展示室2
—
マシュー・バーニー 日新丸のキャビネット 2006 ポリプロプラクソンと熱可塑性と自己潤滑性プラスチックの鋳造、アクリル製ヴィトリヌ 138.4×137.5×168.9cm Courtesy of Matthew Barney and Fergus McCaffrey Fine Art
マシュー・バーニー 拘束のドローイング9：日新丸 2005 C-プリント4点、自己潤滑性プラスチックフレーム パネル1、2、4：各105.4×83.8×3.8cm パネル3：134.6×109.2×3.8cm Courtesy of Matthew Barney and Fergus McCaffrey Fine Art
マシュー・バーニー 拘束のドローイング9：暖かい血 2005 C-プリント2点、自己潤滑性プラスチックフレーム パネル：各97.8×83.8×3.8cm Courtesy of Matthew Barney and Fergus McCaffrey Fine Art
マシュー・バーニー 拘束のドローイング9 2005 135分 Courtesy of the artist and Gladstone Gallery
マシュー・バーニー 拘束のドローイング8：誕生の裂片 2003 グラファイト、水彩絵具、ワセリン、紙、ポリカーボネート製フレーム、ナイロン繊維、アクリル、ヴィヴァック H91.4×W162.5×D104.1cm 金沢21世紀美術館



コレクション展1：展示室3



コレクション展1：展示室4



コレクション展1：展示室13



特別展示：展示室2

コレクション展2 Sea Lane: 島々への接続

会期: 2022年11月3日(木・祝) - 2023年3月19日(日)

会場: 金沢21世紀美術館 展示室1、2、3、4、13、カプアの部屋

出品リスト

展示室1 —	藍、アクリル、グラファイト／カンヴァス H212×W169cm 金沢21世紀美術館 ジュディ・ワトソン マイオール・クリークの喪帽(攻撃的な母国) 1-4 2018 1,3,4: 黄土、土、展色材、アクリル／紙 2: 黄土、土、展色材、アクリル、ブラッドウッド ゴム／紙 1,4: H75.3×W55.7cm 2,3: H64.6×W49.6cm (4点組) 金沢21世紀美術館	展示室3・展示室4間通路 —	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #5 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W34×D22cm 作家蔵 坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #6 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W34×D22 作家蔵	展示室13 —	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Bukomsentosatuasviewdamarte kongmarinajurongcovebranibar atchangilautekongsajahatsenan gphantupunggolsebaraokeastsamalun 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H35 x W140.9 x D1.02 作家蔵
-----------	---	-------------------	--	------------	---

展示室2前通路 —	宇良京子 海 2018 酸性染料／絹 H178×W134cm 作家蔵	展示室4 —	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #7 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W34×D22 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: the inarticulate sandman 2015 シングルチャンネルHDデジタル・ビデオ 41分3秒 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Damartekongmarinajurongcove branibaratchangilautekongsajah atsenanghantupunggolsebarao keastsamalunbukomsentosatua sview 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H77.5 x W53.8 x D1cm 作家蔵
--------------	---	-----------	--	---	---

展示室2 —	照屋勇賢 遙か遠くからの未来より 2015 着色顔料／麻 H168×W140cm 金沢21世紀美術館	坂田清子 北極星 2022 羽 H10×W95×D95 作家蔵	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #8 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W34×D22 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: sandgraph — consolidated 2021 砂／STPI 手製和紙 サイズ可変 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Marinajurongcovebranibaratcha ngilaudamartekongsebaraokeas tsamalunbukomsentosatuasvie wtekongsajahatsenanghantupu nggol 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H88.9 x W41.8 x D0.85cm 作家蔵
-----------	---	--	--	---	--

展示室3 —	照屋勇賢 100%絹綾織布 H132×W400 金沢21世紀美術館	坂田清子 羽 各H10×W95×D95cm、H7×W60×D60cm 作家蔵	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #9 2017 貝、ブラシ H5×W9×D24 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Punggolsebaraokeastsamalunb ukomsentosatuasviewdamartek ongmarinajurongcovebranibar atchangilautekongsajahatsenang hantu 2021 H65.3 x W86.3 x D1.02 レーザーカット／STPI 手製和紙 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Marinajurongcovebranibaratcha ngilaudamartekongsebaraokeas tsamalunbukomsentosatuasvie wtekongsajahatsenanghantupu nggol 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H88.9 x W41.8 x D0.85cm 作家蔵
-----------	--	---	---	--	--

展示室3 —	照屋勇賢 100%絹綾織布 H106.7×W234cm 金沢21世紀美術館	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #2 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W62×D43cm 作家蔵	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #10 2017 貝、ブラシ H5×W9×D24 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Satusasviewdamartekongmarinaj urongcovebranibaratchangilaut ekongsajahatsenanghantupung golsebaraokeastsamalunbukom sento 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H45.2 x W64.8 x D0.95cm 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Tekongsajahatsenanghantupun ggolsebaraokeastsamalunbuko msentosatuasviewdamartekong marinajurongcovebranibaratcha ngilau 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H52.4 x W65.4 x D0.95 作家蔵
-----------	--	--	--	---	--

展示室3 —	照屋勇賢 100%絹綾織布 H106.7×W234cm 金沢21世紀美術館	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #3 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W41×D26 作家蔵	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #11 2017 貝、ブラシ H5×W9×D24 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Tekongsajahatsenanghantupun ggolsebaraokeastsamalunbuko msentosatuasviewdamartekong marinajurongcovebranibaratcha ngilau 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H52.4 x W65.4 x D0.95 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Tekongsajahatsenanghantupun ggolsebaraokeastsamalunbuko msentosatuasviewdamartekong marinajurongcovebranibaratcha ngilau 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H52.4 x W65.4 x D0.95 作家蔵
-----------	--	--	--	--	--

展示室3 —	照屋勇賢 100%絹綾織布 H106.7×W234cm 金沢21世紀美術館	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #4 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W41×D26cm 作家蔵	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #12 2019 ジュディ・ワトソン グレートアーツジャン盆地の泉、湾(泉、水) 2019	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Tekongsajahatsenanghantupun ggolsebaraokeastsamalunbuko msentosatuasviewdamartekong marinajurongcovebranibaratcha ngilau 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H52.4 x W65.4 x D0.95 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Tekongsajahatsenanghantupun ggolsebaraokeastsamalunbuko msentosatuasviewdamartekong marinajurongcovebranibaratcha ngilau 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H52.4 x W65.4 x D0.95 作家蔵
-----------	--	--	---	--	--

展示室3 —	照屋勇賢 100%絹綾織布 H106.7×W234cm 金沢21世紀美術館	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #5 2022 本、羽、塩の結晶 H25×W41×D26cm 作家蔵	坂田清子 Island — 思い出せない言葉 #13 2019 ジュディ・ワトソン グレートアーツジャン盆地の泉、湾(泉、水) 2019	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Tekongsajahatsenanghantupun ggolsebaraokeastsamalunbuko msentosatuasviewdamartekong marinajurongcovebranibaratcha ngilau 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H52.4 x W65.4 x D0.95 作家蔵	チャールズ・リム・イー・ヨン SEASTATE 9: Pulau Tekongsajahatsenanghantupun ggolsebaraokeastsamalunbuko msentosatuasviewdamartekong marinajurongcovebranibaratcha ngilau 2021 レーザーカット／STPI 手製和紙 H52.4 x W65.4 x D0.95 作家蔵
-----------	--	--	---	--	--

展示室
—
前期/中期/後期
作家名
作品名
制作年
素材・技法・形式
寸法
所蔵



コレクション展2: 展示室2



コレクション展2: 展示室2



コレクション展2: 展示室3



コレクション展2: 展示室4

2022年度
金沢市内小学4年生全児童招待プログラム
「ミュージアム・クルーズ」

主催：金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]
共催：金沢市教育委員会
助成：金沢ライオンズクラブ

検討委員：大濱紀子、笠原奈保実、杉本 梢
(金沢市立小学校教諭3名、50音順)

金沢21世紀美術館スタッフ：
[ミュージアム・クルーズ担当] 吉備久美子、木村 健
[展覧会担当] コレクション展1：立松由美子、原田美緒
コレクション展2：野中祐美子
[プログラム・アシスタント] 遠藤加央里、奥田はる香、佐々木修吾、門馬冬音

クルーズ・クルー(80名 50音順)

阿知波里紗、池田 幸、伊藤瑛子、今村良栄、上田麻美子、上野 崇、鶴沢一子、
内堀 洋、梅田美枝子、遠藤花佳、塩谷幸子、大石睦子、大辻尚美、柿田陽子、
堅田光彩恵、金澤瑛葉、河村江津子、木浦玲子、喜多遥加、喜多久恵、北村拓海、
清原那々子、玄海誠子、小室 正子、近藤素子、桜井美幸、澤田夏海、嶋本雅美、
清水紗帆、高井ひとみ、高岡幸子、高木寿美子、高島美羽、高橋 彩、滝野澤風花、
竹内佑美香、竹林あおい、多田美幸、多長桂子、多長希美、塚本浩子、辻 桜乃、

寺内亜紀子、富田洋子、中尾智子、中川 聡、中谷恵理、中戸恭子、中村智也、
西久美、西田朱里、西野文子、橋本和栄、林 朋子、原 知輝、平尾初美、福田外喜子、
古本晶子、保屋裕紀、堀内真郁、前外喜子、前演典子、松田伊佐枝、松本収子、
三浦稔生、美甘絵理、宮丸静夫、向井淳子、村井淑子、安田歩夏、八幡陽子、
山川博子、山岸 良、山口綾斗、山本悦子、吉年葵唯、吉野陽子、Lin Yuling、
和田涼夏、和田伸子

金沢21世紀美術館サスティンメンバー

株式会社アドバンス社
株式会社グランゼーラ
まつだ小児科クリニック
公益財団法人高岡市勤労者福祉サービスセンター
SANAA 事務所
米沢電気工事株式会社
ナカダ株式会社
株式会社福光屋
アルスコンサルタント株式会社
金沢市農業協同組合
ヨシダ宣伝株式会社
金沢信用金庫
株式会社総合園芸
西日本電信電話株式会社金沢支店
株式会社ヤギコーポレーション
株式会社北園銀行
一般社団法人金沢建設業協会
しま矯正歯科
ニッコー株式会社
協同組合金沢問屋センター
一般社団法人MuU
三谷産業株式会社
医療法人社団 健真会 耳鼻咽喉科安田医院
株式会社メープルハウス
株式会社マイブックス
公益財団法人金沢勤労者福祉サービスセンター
スーパファクトリー
株式会社エイブルコンピュータ

金沢中央農業協同組合
株式会社浦建築研究所
林橋舎アッブルカンパニー
ホクモウ株式会社
前田印刷株式会社
株式会社インプレス美術事業部
株式会社バルデザingroup
金沢ターミナル開発株式会社
金沢セメント商事株式会社
株式会社 あまつば
株式会社とむろ
カナカン株式会社
シシクアドクライス株式会社
医療法人社団映寿会
株式会社鍛冶商店
ArtShop 月映
べにや無何有
株式会社 大和
株式会社ユニークボジション
OMO5 金沢片町 by 星野リゾート
株式会社遍洋行、能登印刷株式会社
ワタニセントラル北陸株式会社
株式会社金沢商業活性化センター
株式会社ほくつう
株式会社北都組
株式会社橋本確文堂
ケンブリッジフィルターコーポレーション株式会社
合同会社 鮎みつ川

坪田 聡
金沢市一般廃棄物事業協同組合
金沢商工会議所
株式会社竹中工務店北陸営業所
一般社団法人石川県鉄工機電協会
株式会社うつつのみや
株式会社橋本清文堂
日機装株式会社
株式会社計画情報研究所
株式会社ビー・エム北陸
石川県勤労者文化協会
ヨシダ印刷株式会社
公益社団法人金沢市医師会
株式会社アイ・オー・データ機器
横河電機株式会社金沢事業所
有限会社芙蓉クリンサービス
一般社団法人石川県繊維協会
株式会社コネル金沢
河野 陽子
BE HERE NOW
連合石川かなざわ地域協議会
株式会社金沢環境サービス公社
アムズ株式会社
ヨシダ道路企業株式会社
株式会社金太
北陸スカイテック株式会社
辻商事株式会社
末広フーズ株式会社

株式会社日本海コンサルタント
石川県中小企業団体中央会
高桑美術印刷株式会社
株式会社浅田屋、北菱電興株式会社
株式会社甘納豆かわむら
アズビル株式会社
株式会社四緑園
株式会社ホクスイ
大村印刷株式会社
株式会社中島商店
北陸名鉄開発株式会社
株式会社五井建築研究所
株式会社金沢舞台
石川県ビルメンテナンス協同組合
横浜エレベータ株式会社
株式会社グッドフェローズ
日本海警備保障株式会社
株式会社かゆう堂
株式会社山田写真製版所
森平舞台機構株式会社富山出張所
アイバブリッシング株式会社
(2023年2月末現在)



ミュージアム・クルーズ 記録集2022
MUSEUM CRUISE DOCUMENT 2022

編集：吉備久美子、木村 健
編集補：遠藤加央里、奥田はる香、佐々木修吾、門馬冬音
デザイン：原田祐馬、西野亮介、田中千晶 (UMA / design farm)

発行日：2023年3月31日
発行：金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]
〒920-8509 石川県金沢市広坂1-2-1

禁無断転載
No part of this document may be reproduced in any form or by any means.

©2023 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa
All rights reserved.
ISBN 978-4-910864-06-8

(表紙) イザベル&アルフレド・アクリザン〈移動：もうひとつの国〉2014(部分)